

平成23年度 学術情報リテラシー教育担当者研修
大阪会場（10/20）

プレゼンテーションの実際

—本学の事例紹介と今後の課題について—

立命館大学図書館サービス課
石井 英理香

本日の内容

- 1.立命館大学概要とリテラシー（ガイダンス）の現状
- 2.現状を踏まえた課題について
（2012年度に向けての抜本的見直し）
- 3.実演（政策科学部1回生に対して実施）

立命館大学の概要

3キャンパス（衣笠、びわこ・くさつ、朱雀）

学生数 (13学部17研究科)	学部学生	33,403名
	大学院生	4,120名
立命館大学 図書館蔵書冊数	2,895,919冊	
開館日数	343日	
延入館者数	1,064,253人	
館外個人貸出（総数）	320,106冊	

2011年度日本図書館協会大学図書館調査提出内容より

本学が実施しているリテラシーの内容

1回生の情報リテラシー内で実施する
図書館リテラシー
(15コマ中の1コマ以下)

ゼミやクラスの中で、図書館の使い方やデータベースの使い方についてご案内。
※教員の申込が必要。




クラス対象出張ガイダンス

教員対象ガイダンス

個人申込ガイダンス

図書館が実施している
図書館ガイダンス

- 
- Librarian・学生スタッフによる図書館ツアーやデータベースガイダンス。
 - ベンダーをお招きしてのガイダンスなど。

情報リテラシー内で実施する 図書館リテラシー

【情報リテラシーとは...】

「情報の必要性を認識し、
情報入手・評価し、効果的に利用する能力」¹⁾

【本学での図書館リテラシー】
大学生として学修を深めるうえで、
必要な読み書き能力。検索・引用能力など。
ミニマムスキル：最小限の最もベーシックなスキルを
全ての1回生に！

1) Presidential Committee on Information Literacy : Final report / ed. by ALA. - Chicago : ALA, 1989 - p.1

情報リテラシー内で実施する 図書館リテラシー

『誰が』図書館リテラシーを担当するのか



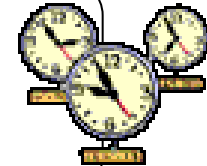
学部・教員の方針によって決定

時間も学部によって異なる



教員

Reference Librarian



外部委託



図書館サービス課
職員



6

情報リテラシー内で実施する 図書館リテラシー

実施にあたり、どのようなことを意識しているか

図書館を敬遠しないように...

まずは行ってみようかな
と思ってもらえるように

なぜ図書館を使う必要があるのか

高校生と大学生の
学びの違い
(論文と感想文の違い)

どういう時に図書館を使う必要があるのか



レポート課題が出た！

図書館の使い方を知っていたら、
これから役に立つかもしれない！

情報の探し方を
身につけることが
できる



情報リテラシー内で実施する 図書館リテラシー

では実際に、どのような内容を実施しているのか

獲得目標

- 信頼性の高い情報を収集することの必要性を理解する
- 情報の集め方と使い方を習得する

- | | |
|--------|-------------|
| Step 1 | ことばの意味を調べる |
| Step 2 | 図書館を使いこなす |
| Step 3 | 蔵書の検索を習得する |
| Step 4 | 新聞の検索を習得する |
| Step 5 | 論文の検索を習得する |
| Step 6 | 引用の書き方を習得する |

図書館が実施している 図書館ガイダンス

クラス対象出張ガイダンス

クラス・ゼミ・研究室のテーマに沿った図書資料の探し方や学術情報の検索方法をご案内。情報教室にて実習形式で実施。オンデマンド型。

2011年度前期の例)

□申込件数：33件

□申し込まれる先生の特徴

セメスターごとに申し込まれている先生（リピーター）も複数。

後期・次年度のご相談をされる方もいらっしゃる、授業の一部として捉えていただいている傾向もあり。

図書館が実施している 図書館ガイダンス

教員対象ガイダンス

学術情報ツールやデータベースの利用方法、検索方法を個別にご説明。
また、先生方のご要望に応じて研究テーマに沿ったデータベースや学術情報に関するホームページ等もご紹介。

2011年度前期の例)

□申込件数：0件

改めてお申し込みをされる先生は、ほぼなし。

レファレンスカウンターでの対応が、そのまま利用案内につながるものがほとんど。

図書館が実施している 図書館ガイダンス

個人申込ガイダンス

図書館が日時を設定して行う、テーマ別ガイダンス。
講師は学生スタッフである学生ライブラリースタッフや、レファレンス・ライブラリアン、また外部講師など様々。

2011年度前期の例)

□申込件数：81名／26回実施（図書館ツアーも含む）

□特徴：

学生が必要とするもの・危機感を感じている内容については、参加者多数（例：就職活動支援ナビ〈使用データベース：eol〉）。

今後抜本的に見直しを図っていく必要あり。

図書館が実施している 図書館ガイダンス

個人申込ガイダンスの申込状況

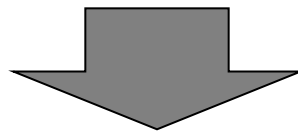
- 申し込みは前期に集中。
- 参加者数は年々減少傾向にあり。

	07 前期	07 後期	08 前期	08 後期	09 前期	09 後期	10 前期	10 後期	11 前期
個人申込ガイダンス	117	16	5	65	46	105	46	81	81
クラス対象出張ガイダンス	552	210	987	766	978	282	1000	371	681
教員対象出張ガイダンス	0	0	0	0	2	0	1	0	0
計	1785	518	1472	891	1040	392	1050	452	746

現状を踏まえた課題

□効果的なレジュメの作成

スライド数が多く学生はレジュメを追いかけるために、常に資料を見る＝うつむいている状況。



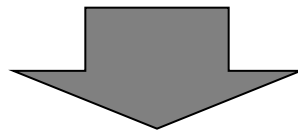
多くのことを盛り込み過ぎると却って煩雑。
適度な実践を含めて、スライド数は最小限に。
しかし今学生に伝えられることは、もれなく伝えたいという思いも。



現状を踏まえた課題

□リテラシーとガイダンスのバランス

「図書館リテラシーを授業内で実施しない」という方針を出した学部の、クラス対象出張ガイダンスの希望が増加。



情報教室が確保できない、人員不足などの問題。
そもそも1回生のミニマムスキルの習得は？

□ガイダンス参加者数の減少

図書館が準備して参加者を待つというガイダンスの形は、今日の学生実態にあっていない？

現状を踏まえた課題

①レジюмеや講義内容の見直し

伝えたいことは最小限にして、より印象に残る・イメージしやすい内容に。

②教員との連携や人員不足、学部との調整など様々な問題を解決していく必要があるが、その第一歩として...

図書館が実施している図書館ガイダンスの
抜本的見直しが必要ではないか



どのように見直す？

好きな時間に
好きな内容を...

見える化

広報戦略？

実施内容を
もっとキャッチーに？

現在模索中...

情報リテラシー内で実施する 図書館リテラシー

本日実践させていただく、
政策科学部1回生図書館リテラシーのご紹介

2011年度前期実施

□対象学生：約390名

□実施日：5/9（月）2限に3クラス

5/12（木）4限に3クラス（計6クラス）

※政策科学部は90分図書館サービス課職員が担当